

放課後に安心して過ごせる居場所をつくり、地域の絆で子どもたちの成長を見守っていく。



カフェを運営するのは、山田高校2年の6人。左から佐々木麗緒(りお)さん、高村侑奈(ゆうな)さん、上沢りえさん、湊日和(ひより)さんの他、小林未空(みそら)さんと坂本未来(みく)さんがメンバー。右端は山田町ゾンタハウスの代表・竹内範子さん。

つながりで創る未来
さんりく
復興最前線!

山田町ゾンタハウス
山田町

施設情報
【住所】山田町長崎四丁目2番10号
【施設開設時間】平日 14:00～20:00
【高校生カフェ営業日】月1～2回 ※月毎に営業日は変わりますのでお問い合わせください。
【問】0193-77-3240

今年7月、山田町内に高校生カフェ「ZOO cafe」がオープンしました。運営するのは、「山田町ゾンタハウス」で学ぶ6人の女子高校生たち。「カフェで町を盛り上げたい」と施設内の一部を借り、地域住民に憩いの場を提供しています。

この「山田町ゾンタハウス」が開設されたのは、平成23年9月のこと。震災で生活環境が激変した子どもたちに、安心して勉強できる場所を提供したいと、東京のNPO法人こども福祉研究所が地域住民と協力してつくりました。施設内には、中高生のための自習スペース「おらーほ」と、住民の集いの場「街かどギャラリー」があり、子どもたちと大人が交流できるようなっています。「ここはみんなが、ホッと息をつける場所。子どもたちの気持ちと自主性を一番大切にしています」と、代表の竹内範子さんは話します。

震災から間もなく6年。自分たちの手で生まれ育った町に、住民の憩いの場“をつくった彼女たちのように、明日を担う若者の力が育っています。

1 中高生の自習室として利用されている「山田町ゾンタハウス」。施設内には住民の集いの場も。2 自習スペース「おらーほ」で勉強する子どもたち。「第二のわが家」として、子どもたちが安心して集える場所になっています。3 「ZOO cafe」で提供するメニューは、飲み物や軽食など16品。営業日を待ちわびる住民も多い。



1
3